

# 土砂防 だより



大気の芸術(富士市)

- 静岡県支部通常総会 ..... 2
- (一社)全国治水砂防協会通常総会 ..... 3
- 土砂災害防止月間の取組 ..... 4
  - ・土砂災害防止月間啓発活動の実施
  - ・路線バス等のフロント広告を活用した啓発
  - ・今年度の新たな啓発の取組
- 「土砂災害・全国防災訓練」を実施 ..... 6
- 土砂災害に対する「自分事化」の取組 ..... 7
- 令和6年度砂防関係事業の代表的な完成箇所 ..... 8
- わがまち(島田市) ..... 9
- 歴史探訪 大谷崩
- インフォメーション ..... 10
- 募集・お知らせ ..... 12

**特集** 第80回全国治水砂防協会  
静岡県支部通常総会  
土砂災害防止月間の取組  
「土砂災害・全国防災訓練」を実施

**特集** 土砂災害に対する「自分事化」の取組



本県の砂防関係事業の一層の促進を呼びかける

# 静岡県支部通常総会を開催

全国治水砂防協会静岡県支部  
30回 通常総



須藤支部長の挨拶

5月22日(木)に、全国治水砂防協会静岡県支部の令和7年度(第80回)通常総会を静岡市内で開催し、会員(市町長)29名と、各土木事務所長が出席されました。

開会にあたり、支部長の須藤富士宮市長から、能登半島の地震と豪雨による「複合災害」や、近年、豪雨の激甚化・頻発化による土砂災害の増加の懸念があることに触れ、県民の生命・財産を守る砂防関係事業について、施設整備の加速化の促進や、市町の警戒避難体制の整備、住民への周知啓発等に資する協会活動の充実を呼びかけました。

続いて、来賓の塚本副知事、中田県議会副議長、国土交通省砂防部の國友砂防計画課長、(一社)全国治水砂防協会の大野理事長より御祝辞をいただき、中部地方整備局河川部長及び県内3つの直轄砂防事務所長等の紹介の後、議案の審議が行われました。令和6年度の事業報告と収支決算報告、令和7年度の事業計画と収支予算、役員の変更が原案どおり承認されました。

多数の会員の皆様に御出席をいただき、誠にありがとうございました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。



塚本副知事の御祝辞



中田県議会副議長の御祝辞



國友砂防計画課長の御祝辞



大野理事長の御祝辞

## 参加市町

富士宮市、伊豆市、森町、南伊豆町、川根本町、東伊豆町、磐田市、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、静岡市、浜松市、三島市、伊東市、焼津市、沼津市、島田市、富士市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、裾野市、伊豆の国市、牧之原市、清水町、長泉町、吉田町(計29市町)

※太字は首長が参加(11市町)

# 土砂災害対策講演会を開催

総会終了後に、土砂災害対策講演会を開催し、國友砂防計画課長には「砂防行政に係る最近の話題」と題し、砂防関係事業に関する新規施策や能登半島地震の被災箇所における対策工事の状況等について講演していただきました。

続いて、大野理事長には「砂防の話～土砂災害を防ぐために～」と題し、砂防堰堤の効果や地震と土砂災害の関係等について講演していただきました。近年、急激な人口減少への対応や、地震と豪雨による「複合災害」への備えも重要になっており、大変有意義な講演会となりました。



講演会の様子

## 全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月29日(木)に、(一社)全国治水砂防協会の令和7年度(第89回)通常総会が砂防会館で開催されました。当日は、多くの国会議員とともに、全国各地から多数の会員(市町長)が出席され、当支部からは、16名の会員に御出席いただきました。

森山会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、令和6年度の事業報告と収支決算報告、全国の砂防関係事業の拡充・促進を図る令和7年度の事業計画と収支予算等が原案どおり承認されました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



森山会長の挨拶



国定国土交通大臣政務官の挨拶

### 須藤支部長が功労者表彰を受賞!

通常総会終了後に協会表彰が行われ、当支部の須藤支部長が、永年にわたる砂防事業の促進と砂防協会の発展に寄与した功績を称える「功労者表彰」を受賞し、森山会長から表彰状が授与されました。



森山会長より須藤支部長へ表彰状を授与

### 参加市町

富士宮市、伊豆市、森町、南伊豆町、川根本町、東伊豆町、袋井市、湖西市、伊豆の国市、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、三島市、御殿場市(計16市町) ※太字は首長が参加(14市町)

# 令和7年度「土砂災害防止月間」

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線等により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

## 令和7年度の主な活動

- 国や市町と連携した啓発活動の実施  
JR県内主要駅（静岡・浜松・沼津）での啓発活動
- 路線バス等のフロント広告を活用した啓発
- 今年度の新たな啓発の取組  
Youtubeや電車内を活用した啓発
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施
- 急傾斜地パトロールの実施
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示

## 1 土砂災害防止月間啓発活動の実施

土砂災害の発生状況や砂防関係事業のハード・ソフト対策の取組に関する情報を発信し、県民の皆様に土砂災害防止に対する理解と関心を深めていただくよう、啓発活動を実施しました。

### JR主要駅（静岡・浜松・沼津）での啓発活動

6月4日（水）に、県、国土交通省静岡河川事務所、静岡地方气象台、静岡市の職員が、JR静岡駅改札前コンコースで、土砂災害防止のリーフレットや啓発グッズを配布する啓発活動を行いました。

今年度から、新たに浜松駅と沼津駅でも、県と浜松市、沼津市の職員が啓発活動を行いました。

また、デジタルサイネージが設置されているJR静岡駅と浜松駅で、土砂災害からの避難に関する動画の放映を行いました。



JR静岡駅での啓発活動



静岡駅構内の電光掲示板

## 2 路線バス等のフロント広告を活用した啓発

県内の路線バスを運行するバス会社5社に加え、11市3町のコミュニティバスと連携し、バスフロント部の広告を活用し、「日頃の備え」と「早めの避難」を県民の皆様に周知しました。（令和6年度：バス会社5社、6市2町）

この取組では、県内の都市部から山間部までの広域に、バス運行時間の長時間にわたり、バス利用者やすれ違い車両、歩行者等の道路利用者に幅広く啓発できる効果を期待しています。

なお、6月3日（火）に、静岡市内のバス営業所において、バス出発式を行いました。



出発式

### バスフロント広告

東海バス、伊豆箱根バス、富士急バス、静鉄バス、遠鉄バス（全5社）  
コミュニティバス（静岡市、浜松市、沼津市、三島市、富士宮市、島田市、富士市、焼津市、藤枝市、袋井市、下田市、函南町、長泉町、小山町（全14市町））  
合計164台

# の取組 6月1日(日)~30日(月)

## 3 今年度の新たな啓発の取組

### Youtubeによる啓発

今年度の新たな取組として、土砂災害に対する早期避難に関する意識の向上を図るための動画をYoutube広告を活用して啓発しました。

より多くの視聴者に興味を持っていただけるよう、15秒で分かりやすく早期避難の重要性を伝えるクイズ形式の動画としました。



Youtube動画「命を守るクイズ」(答え:2番目)

### 電車内広告による啓発

県内を運行するJR東海道本線の車両内に「日頃の備え」と「早めの避難」を呼びかけるポスターを掲示しました。

通勤や通学で利用する多くの方々に、毎日、目に触れていただくことができました。



電車内で掲示したポスター

## 4 その他の広報活動

公用車による広報 (マグネットシート掲示)	35市町、各土木事務所
横断幕、懸垂幕、 立看板の掲示	静岡市、浜松市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、清水町、川根本町、森町(全25市町)、各総合庁舎等
ポスターの掲示	県内ローソン281店舗、各市町役場等、各総合庁舎等

## 日本の大動脈を守る地すべり対策を学ぶ！ 由比地すべり管理センター

昭和49年の七夕豪雨による大災害後に、由比地区(静岡市清水区)では林野庁の直轄地すべり防止事業が昭和50年度から平成12年度まで実施され、その後、静岡県が管理を引き継いでいます。

由比地すべり管理センターでは、自動観測システムによる地すべり挙動の監視と雨量計や地震計の観測等を行うとともに、パネルや模型等により地すべり災害の歴史や対策工事についてわかりやすく展示・公開しています。

5月23日(金)には、一般財団法人全国建設研修センターの「令和7年度地すべり防止技術研修」の現地研修が、6月9日(月)には、日本地すべり学会の現地研修が当地区で行われ、県と国土交通省富士砂防事務所が共同で説明を行いました。

### ★施設情報(入館無料)★

休館日:火・木曜日、祝日、  
12月29日~1月3日  
(その他臨時に休館)  
(することがあります)

時間:10:00~12:00、  
13:00~16:00



# 「土砂災害・全国防災訓練」を実施

## ～情報の確認、早めの避難～

6月1日(日)の全国統一実施日を中心に、「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。

この訓練は、6月の「土砂災害防止月間」の取組の1つとして、土砂災害に対する警戒避難体制の強化と防災意識の向上を図ることを目的に土砂災害警戒区域等の住民や要配慮者利用施設等が参加する実践的な訓練です。

今年度は、昨年の台風第10号等で発生した土砂災害の教訓を生かし、より実効性のある訓練として「情報の確認、早めの避難」をキャッチフレーズに、地域内での呼びかけによる避難や安全を確認する訓練を重点的に行いました。

統一日には、20市町で地域住民や関係機関など約1,500人がモデル地区訓練(実動訓練)に参加し、土砂災害警戒情報や避難指示に伴う住民や要配慮者等の避難訓練を行うとともに、ハザードマップで危険な区域や避難場所、安全な避難路を確認するなど、自助・共助による防災意識を高めました。また、訓練終了後には、県・市職員による講習会を実施し、「日頃の備え」や「早めの避難」について理解を深めていただきました。

今年も、市町や関係機関が主体で行う「モデル地区訓練」と地域住民が主体で行う「地域別訓練」を県内の全35市町で実施する予定です。

### 訓練参加市町

- ◆6月1日(日) …… 熱海市、三島市、富士宮市、富士市、袋井市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、長泉町、川根本町、森町
- ◆6月1日(日)以外 …… 静岡市、浜松市、沼津市、伊東市、島田市、焼津市、藤枝市、函南町、清水町、小山町ほか

### 訓練の状況



避難所開設訓練  
(6月1日:伊豆市)



要配慮者施設の避難訓練  
(6月1日:清水町)



安否確認の様子  
(6月1日:袋井市)



土のう作成訓練  
(6月1日:伊東市)



消防隊による実動訓練  
(6月1日:森町)



ドローンの操作訓練  
(6月1日:函南町)



意見交換会  
(6月1日:長泉町)



ハザードマップの確認  
(6月1日:松崎町)



土砂災害講習会  
(6月1日:御前崎市)

# 土砂災害に対する「自分事化」の取組

## 完成見学会を通じた自分事化 ～油山川砂防堰堤～

静岡市葵区油山地区の油山川と支川の小沢は、令和4年の台風第15号の豪雨による土石流により、甚大な被害が発生しました。県では再度災害防止のため、「災害関連緊急砂防事業」により、砂防堰堤2基を緊急的に整備し、地域の皆様の御協力をいただき、令和7年2月に完成しました。

3月8日(土)に、事業に携わった建設会社や建設コンサルタントと連携して地域の皆様とともに「油山川砂防堰堤完成見学会」を開催し、完成を祝いました。

見学会では、油山自治会長から、災害発生時の状況の振り返りや堰堤完成に対するねぎらいと感謝の言葉をいただきました。工事を担当した現場代理人から、難工事であったが地元住民の笑顔のために工事を進め、無事完成することができたと想いが語られ、事業関係者と地元の皆様で、地域の安全、安心のために心をひとつにすることができました。

今回の見学会では、完成の記念とともに、いざという時には自ら早めに避難することが重要であることを伝えるための「砂防カード」を作成し、配布しました。

このカードには完成した砂防堰堤の概要を記載し、裏面にはハザードマップや土砂災害の危険度を確認する方法、避難情報等の二次元コードを記載しています。本県では、こうした取組を県内の各現場に拡げていく予定です。



完成見学会（記念撮影）



砂防カード（表面）

## 小中学校の避難訓練と連携した出前講座の実施

土砂災害防止法では、「土砂災害警戒区域」内の要配慮者利用施設に対して、避難確保計画の作成及び計画に基づく避難訓練の実施を義務付けています。

県内の「土砂災害警戒区域」に立地している小中学校は134校あり、全ての学校で避難確保計画が作成されていますが、避難訓練の実施率は40%（令和6年度末現在）にとどまっております。

今年度、教育委員会と連携し、対象となる小中学校（134校）に対して避難訓練の実施を働きかけるとともに、児童・生徒の防災意識向上を図る出前講座の希望を募ったところ、53校から講座の申し込みがありました。現在、学校が企画した土砂災害避難訓練にあわせた出前講座やフィールドワーク等を実施し、防災意識の向上を支援しています。

### 富士宮市立稲子小学校における土砂災害避難訓練と連携した防災講座

地元TVのニュースで放送!

令和7年4月18日(金)に、土砂災害警戒区域内に立地する富士宮市立稲子小学校で土砂災害を想定した避難訓練を実施しました。

避難場所の体育館に移動した児童を対象に、県の職員がクイズ形式で避難時の心構え等を説明し、楽しみながら土砂災害からの避難の重要性を学んでもらいました。

講座終了後には、学校周辺を歩きながら、身近にある土砂災害のおそれのある場所や砂防施設等を確認しました。



土砂災害に関する講習



フィールドワーク



訓練の様子



訓練の振り返り

令和6年度

# 砂防関係事業の代表的な完成箇所

## 砂防事業

かみかんそざわ

### ●上神増沢砂防堰堤工 (磐田市上神増地先)



上神増沢では、砂防堰堤1基を整備し、人家20戸、磐田市立豊岡南小学校、県道磐田天竜線の保全を図りました。

こさわ

### ●小沢砂防堰堤工 (静岡市葵区油山地先)

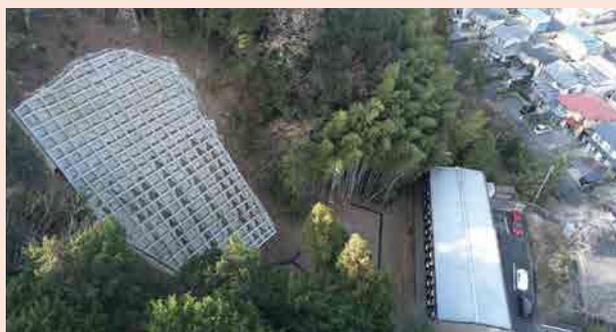


小沢では、災害関連緊急砂防事業で砂防堰堤1基を整備し、人家71戸の保全を図りました。

## 急傾斜地崩壊対策事業

まがさんご

### ●気賀山後A 法面工 (浜松市浜名区細江町気賀 地内)



気賀山後Aでは、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業で法面工を整備し、人家18戸（集合住宅）の保全を図りました。

みずかわなかむら

### ●水川中村 擁壁工 (榛原郡川根本町水川 地内)



水川中村では、擁壁工を整備し、人家6戸と町道、林道の保全を図りました。

※令和6年度に完成した箇所

事業名	箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
砂防	立花寺沢	静岡土木	静岡市清水区立花	356	H28	不透過型、H=11.0m、L=47.0m
	上神増沢	袋井土木	磐田市上神増	190	R1	不透過型、H=5.5m、L=26.0m
	小沢	静岡土木	静岡市葵区油山	100	R4	透過型、H=6.5m、L=37.5m
急傾斜地崩壊対策	理源山	下田土木	下田市5丁目	377	H28	擁壁工 L=153.2m
	横田久命	下田土木	賀茂郡松崎町大澤	604	H19	擁壁工 L=462.0m
	小海No.2	沼津土木	沼津市内浦小海	422	H25	擁壁工、防護柵工 L=120.0m
	藤曲坂下	沼津土木	駿東郡小山町藤曲	44	R5	擁壁工 L=23m
	生土松葉	沼津土木	駿東郡小山町生土	25	R6	法枠工 A=290m <sup>2</sup>
	長貫川合	富士土木	富士市長貫	106	R2	擁壁工 L=30m
	三輪佐護神ノ谷	島田土木	藤枝市三輪	83	R3	擁壁工 L=212m
	水川中村	島田土木	榛原郡川根本町水川	206	H28	擁壁工 L=37.6m
	野田旗指	島田土木	島田市野田	175	H28	防護柵工 L=35.5m
	平松藪下B	袋井土木	磐田市平松	221	R4	法枠工 A=1,363m <sup>2</sup>
	満水	袋井土木	掛川市満水	270	H29	擁壁工 L=238.5m
	板沢原	袋井土木	掛川市板沢	44	R2	擁壁工 L=100m
	下平田	浜松土木	浜松市天竜区渡ヶ島	390	H29	擁壁工 L=291.1m
	気賀山後A	浜松土木	浜松市浜名区細江町気賀	90	R5	法枠工 A=600m <sup>2</sup>

※地すべり対策事業は完成箇所無し

## 島田市

島田市は、静岡県のほぼ中央に位置し、北には南アルプスへ続く山々が連なり、南西には緑豊かな牧之原台地が広がります。そして、南アルプスに源を發し、駿河湾にそそぐ大井川が市内を流れています。

本市では、大井川流域を軸に育まれた産業や文化に加えて、豊かな自然と四季を感じながら観光を楽しむことができます。

大井川流域には、世界一長い木造歩道橋として英国のギネス社に認定された蓬萊橋をはじめ、雄大な大井川と四季折々の景色の中を走り抜けるSL列車やSL列車の見える露天風呂が楽しめる川根温泉、大井川流域の農産物や特産品を集めた緑茶・農業・観光の体験型フードパーク「KADODE OOIGAWA」など数多くの観光スポットがあります。

また、10月には、大井川沿いに整備されたマラソンコース「リバティ」を走る「しまだ大井川マラソンinリバティ」が開催されます。



マラソンと蓬萊橋

さらに、今年は、日本三奇祭のひとつである「島田大祭(帯祭り)」をはじめ、「大井川大花火大会」「島田髷まつり」などが開催されますので、ぜひ、島田市にお越しください。



大井川大花火大会

しかし、島田市には大井川や茶畑など豊かな自然がある反面、地目別面積では山林が約半分を占め、土砂災害警戒区域が816箇所と県内で5番目に多く指定されております。ハード対策の実施状況としては採択可能箇所数241箇所のうち概成箇所数101箇所と整備率が41.9%となっております。

一刻も早く住民が安心・安全に暮らせるよう防災・減災対策に取り組んでまいりますので、御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 歴史探訪

### 大谷崩 (おおやくずれ)

安倍川流域の山地には多数の崩壊地があります。中でも「大谷崩」は日本でも有数の大規模なもので面積1.8km<sup>2</sup>、幅約1.8km、標高差800mで、崩壊土砂量は約1億2,000万m<sup>3</sup>と推定されており、富山県の「鳶山(とんびやま)崩れ」、長野県の「稗田山(ひえだやま)崩れ」と並び「日本三大崩れ」のひとつとして知られています。また、大谷崩れの麓には幸田文が晩年に日本中の「崩れ」の現場を訪ね書き上げた『崩れ』の文学碑が建てられています。

大谷崩は、宝永4年(1707)に発生した宝永地震によるものと推定されており、大量の土砂が5km下流の赤水の滝まで一気に流下して三河内川をせき止め新田地区に大池をつくったといわれています。

安倍川上流域では、大正3年(1914)8月の台風による静岡市街の大災害を契機に、大正5年に梅ヶ島の赤水地先で補助事業による砂防工事に着手し、昭和10年(1935)に砂防堰堤1基が完成、昭和12年からは国による直轄砂防事業がはじまりました。

現在、大谷崩れでは国土交通省静岡河川事務所による土砂生産源の対策が進められており、斜面の浸食や崩壊の拡大を防止し、植生を復元させるための山腹工が実施されています。



大谷崩(令和7年2月 国土交通省静岡河川事務所撮影)

## 東海地区砂防課長会議・東海ブロック砂防主管課長会議を開催しました

4月25日(金)に、当県が幹事県として、東海地区砂防課長会議・東海ブロック砂防主管課長会議を静岡県庁別館で開催しました。

国土交通省砂防部保全課山本課長補佐、中部地方整備局阿部地域河川調整官をはじめ、岐阜県・愛知県・三重県の各県の砂防主管課長等が出席しました。

会議では、国土交通省砂防部から「砂防行政に関する最近の話題」の説明のほか、本省や各機関からの「今後の砂防関係事業の展開」、「ダイナミックSABOプロジェクトに関する取組」などの提案議題について、活発な討議が行われました。



会議の様子

## 「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打ち合わせ会」を開催しました

6月11日(水)に、「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打ち合わせ会」を、静岡市産学交流センターで開催しました。合同打ち合わせ会は毎年、県内の3つの直轄砂防事務所(静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所)と県砂防課が、本年度の事業計画や最新の取組、連絡事項等を情報共有し、各機関の円滑な事業実施を目的に開催しています。

今年度は、新たに中部地方整備局をお招きし、各機関による事業実施状況の報告後、広報・要望活動や砂防DX・ICTの取組、土砂洪水氾濫対策の方針や考えなどについて情報を共有し、活発な意見交換を行いました。



打ち合わせ会の様子

## 水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会を開催しました

5月16日(金)から6月12日(木)にかけて、賀茂・東部・中部・西部の県内4会場で、県及び市町の河川・砂防及び防災担当職員を対象に、「水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会」を開催しました。

意見交換会の第1部では、県や静岡地方気象台の職員から、土砂災害に対する警戒避難体制の整備や、水防や流域治水の取組、気象警報等の基準値など、本格的な出水期を前に、防災担当者として留意すべき点について説明を行いました。

第2部では、要配慮者利用施設における避難訓練の実施向上を図るため、参加市町の取組状況を共有するとともに、課題や今後の対応等について意見交換を行いました。



西部地区での意見交換会の様子

## 安倍川大規模土砂災害合同防災訓練が開催されました

6月3日(火)に、中部地方整備局静岡河川事務所主催の安倍川大規模土砂災害合同防災訓練が開催されました。

この訓練は、様々な事象により発生する大規模土砂災害(河道閉塞、地すべり、その他同時多発的に発生する土砂災害)に対し、国土交通省、静岡県、静岡市等の各防災担当者の災害対応能力向上を目的に、令和4年度より実施しています。

今年度は、土砂災害が同時多発した災害シナリオにより、関係機関が連携して対応する「質疑応答型訓練」を実施し、災害時の局面に応じた判断力や関係機関の調整等に関して、高度かつ総合的な対応能力の向上を図りました。



参加機関による「質疑応答訓練」への対応状況

## 市町等砂防担当職員研修を開催しました

～土砂災害警戒情報による「早期避難を目指して!」～

6月6日(金)及び13日(金)に、県庁と下田総合庁舎で、「市町等砂防担当職員研修」を開催し、市町及び県の砂防・防災関係職員51名が参加しました。

この研修は、本格的な雨期を迎えるにあたり、土砂災害に関する防災気象情報等の理解とともに、土砂災害の危険度を確認できるウェブサイトの操作方法を学ぶ実践的な研修です。

当日は、静岡地方気象台から「静岡県の気象と防災情報」と題して、本県の気象特性や土砂災害警戒情報などの防災に関する気象情報の発表基準、気象庁が公開している「キキクル(危険度分布)」の概要等について説明をいただきました。

砂防課からは、県ホームページで公開している「土砂災害警戒情報補足情報システム」について、参加者にパソコンを操作していただきながら、避難指示の発令を想定した危険度判定や避難対象地区の絞り込み等の演習を行いました。

参加者からは、「天気図の見方や気象情報の発表基準などが理解できた。」、「システムの操作を実習形式で学べて良かった。」など、多くの貴重な意見や感想が寄せられました。



静岡地方気象台からの説明



「土砂災害補足情報システム」の操作演習

## 「第26回砂防ボランティア全国のつどい」及び「令和7年度(第43回)土砂災害防止「全国の集い」in宮城」が開催されました

6月10日(火)に、「第26回砂防ボランティア全国のつどい」と「令和7年度(第43回)土砂災害防止「全国の集い」in宮城」が宮城県仙台市で開催されました。

「砂防ボランティア全国のつどい」では、各県のボランティア協会の取組の中から、岩手県における山林火災の緊急点検活動と京都府における出前講座等の普及活動について事例紹介がありました。

また、「全国の集い」では、「平成20年岩手・宮城内陸地震、令和元年東日本台風2つの土砂災害を経験した宮城県より ～複合災害(大規模地震災害後の豪雨災害)に備える～」をテーマに、宮城県で発生した複合災害の対応事例や課題についてのパネルディスカッションが行われました。当県のポスターセッションでは、既設の砂防施設や急傾斜施設が土砂災害の減災効果を発揮した事例について紹介しました。

11日(水)には、現地研修会が実施され、国土交通省東北地方整備局が整備している丸森町内の遊砂地や宮城県が整備している蔵王町内の火山砂防事業による床固工、令和6年度にジオパークに指定された蔵王ジオパークセンターなどの視察を行いました。



静岡県のポスターセッション(中央)

## 急傾斜パトロールを実施しました

～関係機関や砂防ボランティアとの協働～

急傾斜地崩壊危険区域において、県、市町、警察や消防等の関係機関及び砂防ボランティアと連携し、擁壁等の防止施設の異状の有無や斜面の状況等を点検する急傾斜地パトロールを実施しました。

このパトロールでは、令和2年度からタブレットを活用した点検を行っており、結果の入力や報告書作成などの事務作業の軽減を図っています。

これからも施設を適切に管理していくため、県が策定した長寿命化計画に基づき、健全度に応じた定期的な点検と計画的な補修を進めていきます。



パトロールの様子

# 【令和7年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しています。  
御活用いただきありがとうございました。



## 募集・お知らせコーナー

### 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

- [募集対象] 小・中学生 [応募期間] 6月1日(日)～9月15日(月)  
[応募方法] 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記してください。  
[応募先] 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号  
静岡県交通基盤部砂防課 砂防班  
TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます  
<http://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/index.html>



### 小中学校における出前講座の募集

土砂災害のおそれのある地域の小中学校を対象に、児童や生徒の防災意識の向上を図るための出前講座を実施しています。土砂災害警戒区域内に立地する小中学校は避難確保計画に基づく避難訓練の実施が義務付けられていますので、避難訓練とあわせて出前講座の希望する学校は県砂防課まで御連絡下さい。



- 8月21日(木)～22日(金) 日本地すべり学会中部支部現地研修会(浜松市天竜区)  
8月28日(木)～30日(土) 市町長等砂防関係事業県外視察(宮城県)  
9月1日(月) 防災の日  
10月21日(火) 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(愛知県内)  
11月13日(木) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)  
11月14日(金) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館、国土交通省等)



**【表紙写真】**  
**大気芸術** (撮影地:大淵笹場)  
写真提供:富士市  
(第17回富士山百景コンテスト)  
※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様の御協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

### 編集・後記

4月より砂防協会事務員として任用されました吉澤と申します。  
土砂災害防止月間の取組として、フロント広告のバス出発式やJR静岡駅の啓発活動に参加しました。1人でも多くの県民の皆様目に触れていただき、土砂災害の防止に繋がることを願っております。  
引き続き、お子様からお年寄りまで幅広い世代の方々が土砂災害防止に対する意識を向上していただけるような取組を参ります。様々な活動を通して、私自身も多くの学びを得られるよう精進してまいりますので、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いたします。  
全国治水砂防協会静岡支部 吉澤 舞里子

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/index.html>



第217号 発行日: 令和7年7月15日  
編集・発行: 全国治水砂防協会静岡支部  
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内  
TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sbkk\_s@yahoo.co.jp

